

2023 ミス日本「海の日」 稲川夏希さん

◆夏希の休日 第3回 ① 思い出深い家族との初島旅行 -家族旅行は海へ-

今月は、私が家族旅行で最も多い回数足を運んだ「初島」旅行についてご紹介させていただきたいと思います。

まず、簡単に初島についてご紹介させていただきます。初島は伊豆半島東部、相模湾海上に浮かぶ島であり、「首都圏から一番近い離島」としても知られています。熱海から高速フェリーを利用すれば約30分で到着することのできる初島は、日帰りでも宿泊でも楽しむことのできるリゾートアイランドです。

さて、私事ですが、稻川家は旅行が大好きな家族であり、毎年3~4回ほど家族で旅行に行っております。特に海がある場所に行くことが多く、最近では海が澄んでいて自然豊かな石垣島や、ニッポンチャレンジの聖地である蒲郡に家族旅行で足を運びました。そのような家族旅行の中でも最も多く行ったのが「初島」です。私の記憶がある中でも15回以上初島へ家族旅行をした思い出がございます。幼少期の年末年始には、家族や親戚と初島で宿泊し、ホテルから海の眺望を長時間楽しんでいたのをよく覚えています。

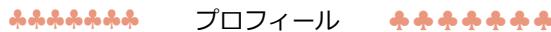
初島へ行く際には、主に高速フェリーに乗船します。フェリーには、航行中たくさんの方々がエサを求めてやってきます。エサを取りに来るカモメの勢いに驚いて、よく泣いてしまっていたのは今となっては良い思い出です。また、運が良い時には、イルカがフェリーと並走しているところを観ることもできます。日本国旗が掲げられているフェリーから望む相模湾は圧巻で、雄大な空と海のマッチングは何度見ても飽きることはありません。時には熱海マリーナから初島マリーナへクルージングで向かうこともあります。ボートでのクルージングならではの海風を存分に味わうことができ、私にとっては日常を忘れ、家族との非日常的な体験をすることのできる貴重なリラックスタイムです。

ボートを操縦して初島へ

今年の7月にも家族で初島に足を運びました。しかし、今回は神奈川県の逗子マリーナから41フィートのボートで初島へ向かいました。15回以上行っている初島ですが、逗子マリーナからボートで初島へ行くのは初めての機会でした。実は元々、その日はボートで新島へ行く予定でした。新島は逗子マリーナから約3時間の場所に位置する伊豆諸島の一つです。天気は良かったのですが、午後になるにつれて風が強くなるという天気予報を見て、帰りの航海の安全性を考慮し、父と相談して初島へと目的地を変更しました。実際に、その日の午後は風が強まり、もし新島に行っていたら帰路につくことができなかつた可能性が高かったため、慎重すぎたとしてもこの判断は正解であったと感じております。出航前の天気予報の確認の重要性を再認識する経験となりました。

※ 1851年にロンドンで開催された第1回万国博覧会を記念して行われたワイト島一周レースを起源とする国際ヨットレース「アメリカズカップ」は、各国がトップアスリートのヨットマン、造船工学や流体力学、気象学などの先端技術を結集して争うもので、日本は「ニッポンチャレンジ」チームを組織して1992年から2000年にかけて3度挑戦しました。挑戦艇を決めるレースで敗退しましたが、この「ニッポンチャレンジ」のベースキャンプ地が蒲郡です

「海員だより」



プロフィール



稻川 夏希（いながわ なつき） 東京都出身。大学4年生。法学部に在籍し、将来は弁護士、政治家を志している。特技は競歩とピアノ。趣味は筋力トレーニングとお伊勢参り。座右の銘は「3月の風と4月の雨が5月の花を咲かせる」